

競 技 上 の 注 意

1 本大会は2023年（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

2 招集について

(1) 競技者は招集集合時刻に招集所に集合し、競技者係より胸背部のアスリートビブスと腰ナンバー標識等の確認を受け、終了後、競技者係の誘導に従って競技場内に入場する。

棒高跳びの招集は現地で行う。プログラム記載の招集集合時間に現地に集合すること。

(2) 長距離競走出場（3000m、5000m、5000mW）の競技者へは、招集時に胸用の特別アスリートビブスを配布する。（安全ピンは各校で準備すること。）背中のアスリートビブスは各自のものをつけること。

(3) 代理人による招集は認めない。ただし2種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集完了時刻前までに招集所競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入し提出する。この場合に限り招集を代理人がすることを認め、審判長はやむをえない事情があると認めた場合に限り、フィールド競技のみ試技順を変更して出場させる。

(4) 競技を棄権する場合には招集所競技者係に申し出て指示に従う。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。

3 使用できるシューズ・スパイクについて

本大会はWA規則143条TR5を適用する。使用できるシューズ・スパイクは以下のとおりとする。規定に満たないものを使用した場合、失格となる。

種目	ソールの厚さ
100m～400m、100mH、110mH、400mH、4×100mR、4×400mR 走幅跳、走高跳、棒高跳 砲丸投、円盤投、やり投、ハンマー投	20mm以内
800m～5000m、3000mSC 三段跳	25mm以内
5000mW	40mm以内

4 競技者の変更は認めない。

5 アスリートビブス、腰ナンバー標識（1～9レーン）は各校で準備すること。10レーン以降の腰ナンバー標識は、該当種目招集時に配布する（安全ピンは各自で準備）。トラック種目出場者は胸背部にアスリートビブスを、右腰後方に腰ナンバー標識をつける。フィールド種目出場者は胸背部（跳躍競技は胸部・背部片方のみでもよい）にアスリートビブスをつける。

6 棒高跳のポール以外は、競技場備えつけの用具を使用する。

やり（男女）の持ち込みについては、8:30～9:00に本部にて検定を行う。検定を受けたやりは共有で使用することができる。

7 リレーオーダー用紙は、各レース1組目招集完了時刻の1時間前までに招集所競技者係に提出すること。

4×100mRの予選のみ、茨城陸上競技協会のホームページ上でダウンロードした様式を各校で準備し提出すること。

- 8 トラック種目において、同タイムの場合は1/1000秒単位をもって判定する。
- 9 5000mWは、制限時間を設ける。下記の時間までに最終周に入れなかった場合は、レースを中止させる。

〈途中棄権扱いとする〉

- ① 女子5000mW；最終周で40分00秒以内、 ② 男子5000mW；最終周で35分00秒以内

- 10 9月25日(月)競技終了後、陸上競技場において関東高校選抜新人大会出場についての打ち合せを行うので学校代表者は必ず参加すること。なお、9月27日(水)13時30分(時間厳守)水戸信用金庫スタジアムにて、関東高校選抜新人大会の申込受付を行うので、必要書類を整えた上、必ず出席すること。

- 11 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

- 12 ゴミ処理について

ゴミは、各自で必ず持ち帰ること。

- 13 バーのあげ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男 走高跳	1.55 1.70 1.85	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	1.94	1.97
女 走高跳	1.30 1.40 1.50	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56	1.59	1.62	1.65	1.68
男 棒高跳	3.00 3.60 4.00	3.00	3.20	3.40	3.60	3.70	3.80	3.90	4.00	4.10	4.20
女 棒高跳	1.80 2.40 2.80	1.80	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	2.70	2.80	2.90	3.00

※ 三段跳の踏切版は男子10m、11m、女子8mで行う。

- 14 計測ライン(状況により変更することがある。)

男 走幅跳	男 三段跳	男 砲丸投	男 円盤投	男 やり投	男 ハマー投
5.60	11.50	8.00	22.00	30.00	18.00
女 走幅跳	女 三段跳	女 砲丸投	女 円盤投	女 やり投	女 ハマー投
4.30	8.00	6.00	18.00	22.00	10.00

- 15 1位～3位までの表彰を行う。3位までに入賞した選手は競技終了後30分を目安に行う。4位～8位に入賞した学校の顧問は、競技終了後、本部まで賞状を取りに来ること。

- 16 ハードル補助員(1校 3名とする)

1台目 佐和 2台目 水戸葵陵 3台目 土浦日大 4台目 牛久栄進 5台目 古河一
6台目 古河中等 7台目 霞ヶ浦 8台目 下館一 9台目 境 10台目 つくば秀英

- 17 競技者・補助員以外の競技場内への立ち入りを禁止とする。また、競技場内への通信機器(ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話など ※イヤフォンを含む)の持ち込みは禁止とする。

- 18 プログラムの氏名、アスリートビブスなどに訂正がある場合は、招集所競技者係に申し出ること。
- 19 助力については、競技規則第144条に従う。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像の確認は認めない。（コーチエリアを利用すること）
- 20 応援について
集団応援はサイドスタンド及びバックスタンドで行うこと。ただし競技に支障がある場合は控えること。
- 21 A決勝とB決勝の扱いについて
400m、800m、400mHはA決勝とB決勝を行う。予選を通過した選手はA決勝に進むことができる。予選を通過しなかった選手の中で上位8名の選手はB決勝に進むことができる。ただし、B決勝を走った選手がA決勝を走った選手よりも上位の記録を残したとしても、A決勝の選手の順位を上回ることはない。

練習会場での注意事項

- 1 練習は各校監督の指導のもと、事故防止に十分配慮すること。
- 2 補助競技場では危険が伴うので、十分注意して行うこと。
- 3 補助競技場の使用レーンについては次の通りとする。
1～2 レーン：中・長距離 3～6 レーン：短距離 7～8 レーン：ハードル
- 4 補助競技場の使用についてはトラック最終種目の招集完了時刻をもって終了する。
- 5 投てき場での投てき物を使った練習は禁止とする。投てき場の使用はw-upのみとする。投てき種目の競技が終了次第、投てき場は施錠する。